

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）および前第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）および当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）および前第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表ならびに当第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）および当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,828	29,865
受取手形及び売掛金	※2 16,092	※2 6,288
商品及び製品	1,110	849
仕掛品	458	183
原材料及び貯蔵品	928	1,698
ゲームソフト仕掛品	12,217	14,333
その他	8,212	8,132
貸倒引当金	△67	△48
流動資産合計	65,780	61,303
固定資産		
有形固定資産	※1 14,063	※1 14,049
無形固定資産		
のれん	478	179
その他	3,586	3,048
無形固定資産合計	4,064	3,227
投資その他の資産		
その他	8,207	9,060
貸倒引当金	△972	△1,019
投資その他の資産合計	7,235	8,040
固定資産合計	25,363	25,318
資産合計	91,144	86,621
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※2 4,904	※2 3,477
短期借入金	4,711	13,211
未払法人税等	4,993	663
賞与引当金	993	1,318
返品調整引当金	105	90
その他	7,997	6,451
流動負債合計	23,706	25,211
固定負債		
長期借入金	6,892	4,355
退職給付引当金	1,533	1,388
その他	2,329	1,708
固定負債合計	10,754	7,453
負債合計	34,461	32,665

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,239	33,239
資本剰余金	21,328	21,328
利益剰余金	22,031	17,262
自己株式	△13,142	△13,141
株主資本合計	63,456	58,689
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8	19
為替換算調整勘定	△6,781	△4,752
評価・換算差額等合計	△6,773	△4,732
純資産合計	56,683	53,956
負債純資産合計	91,144	86,621

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	49,987	70,773
売上原価	30,655	42,132
売上総利益	19,332	28,641
返品調整引当金戻入額	77	—
返品調整引当金繰入額	—	14
差引売上総利益	19,409	28,626
販売費及び一般管理費	※ 14,592	※ 15,856
営業利益	4,817	12,769
営業外収益		
受取利息	253	106
受取配当金	19	19
その他	146	62
営業外収益合計	419	188
営業外費用		
支払利息	124	116
貸倒引当金繰入額	2	—
支払手数料	108	—
為替差損	40	1,462
店舗閉鎖損失	125	—
その他	38	76
営業外費用合計	441	1,655
経常利益	4,795	11,303
特別利益		
固定資産売却益	—	1
貸倒引当金戻入額	29	24
投資有価証券売却益	—	2
その他	—	4
特別利益合計	29	33
特別損失		
固定資産除売却損	74	17
投資有価証券評価損	—	257
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	204
減損損失	166	—
事業再編損	4,092	—
その他	—	1
特別損失合計	4,333	481
税金等調整前四半期純利益	491	10,855
法人税、住民税及び事業税	1,041	4,974
過年度法人税等	△1,763	—
法人税等調整額	△518	△955
法人税等合計	△1,240	4,018
少数株主損益調整前四半期純利益	—	6,836
四半期純利益	1,731	6,836

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	11,094	30,067
売上原価	7,646	16,033
売上総利益	3,448	14,033
返品調整引当金戻入額	50	—
返品調整引当金繰入額	—	25
差引売上総利益	3,498	14,008
販売費及び一般管理費	※ 4,255	※ 5,181
営業利益又は営業損失(△)	△756	8,826
営業外収益		
受取利息	109	14
受取配当金	3	3
為替差益	126	—
その他	20	13
営業外収益合計	259	30
営業外費用		
支払利息	36	38
為替差損	—	364
店舗閉鎖損失	125	—
その他	21	32
営業外費用合計	183	435
経常利益又は経常損失(△)	△680	8,422
特別利益		
固定資産売却益	—	0
貸倒引当金戻入額	11	23
投資有価証券売却益	—	2
その他	—	4
特別利益合計	11	30
特別損失		
固定資産除売却損	51	2
減損損失	166	—
事業再編損	4,092	—
その他	—	0
特別損失合計	4,309	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,979	8,450
法人税、住民税及び事業税	△1,242	4,189
過年度法人税等	△1,763	—
法人税等調整額	△737	△792
法人税等合計	△3,744	3,397
少数株主損益調整前四半期純利益	—	5,052
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,235	5,052

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	491	10,855
減価償却費	2,447	2,335
減損損失	166	—
のれん償却額	183	164
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△152	△22
受取利息及び受取配当金	△273	△126
支払利息	124	116
為替差損益 (△は益)	113	1,456
固定資産除売却損益 (△は益)	74	16
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△2
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	257
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	204
事業再編損失	4,092	—
売上債権の増減額 (△は増加)	23,310	△9,983
たな卸資産の増減額 (△は増加)	299	170
ゲームソフト仕掛品の増減額 (△は増加)	△5,288	1,875
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,840	1,548
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△1,563	2,135
その他	△943	194
小計	17,241	11,196
利息及び配当金の受取額	273	126
利息の支払額	△124	△115
訴訟関連損失の支払額	—	△161
法人税等の支払額	△2,546	△570
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,845	10,474
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,213	△1,311
有形固定資産の売却による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△250	△476
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△488
その他	351	365
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,111	△1,909

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△5,055	△8,500
長期借入れによる収入	—	3,000
長期借入金の返済による支出	△463	△463
自己株式の取得による支出	△2,704	△1
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△1,832	△2,067
その他	△367	△464
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,423	△8,496
現金及び現金同等物に係る換算差額	△643	△3,055
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,666	△2,986
現金及び現金同等物の期首残高	28,611	29,815
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 31,278	※ 26,828

【継続企業の前提に関する事項】

当第3四半期連結会計期間(自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
1 連結の範囲に関する事項の変更	<p>(1) 連結の範囲の変更 第2四半期連結会計期間より、新たに設立したCAPCOM GAME STUDIO VANCOUVER, INC. を連結の範囲に含めております。また、当第3四半期連結会計期間において、CAPCOM GAME STUDIO VANCOUVER, INC. は、BLUE CASTLE GAMES INC. の株式を取得し、合併しております。</p> <p>(2) 変更後の連結子会社の数 14社</p>
2 会計処理基準に関する事項の変更	<p>(1) 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。 これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益および経常利益はそれぞれ25百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は229百万円減少しております。</p> <p>(2) 「持分法に関する会計基準」および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用 第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。 この適用による損益への影響はありません。</p> <p>(3) 「企業結合に関する会計基準」等の適用 当第3四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分)、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。</p>

【表示方法の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
(四半期連結損益計算書関係)
1 営業外費用の「支払手数料」は、営業外費用総額の100分の20以下となっておりますので、当第3四半期連結累計期間より、「その他」に含めて表示しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「支払手数料」は41百万円であります。
2 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
(四半期連結損益計算書関係)
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第3四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

【簡便な会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
1 一般債権の貸倒見積高の算定方法	当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
2 棚卸資産の評価方法	当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切り下げを行う方法によっております。
3 法人税等ならびに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法	当社の法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等および一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
1 税金費用の計算	連結子会社の税金費用に関しては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
※1 有形固定資産の減価償却累計額 17,039百万円 (減価償却累計額には、減損損失累計額が含まれております。) ※2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理をしております。 なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、当第3四半期連結会計期間末残高から除かれております。 受取手形 61百万円 支払手形 42百万円	※1 有形固定資産の減価償却累計額 16,105百万円 (減価償却累計額には、減損損失累計額が含まれております。) ※2 _____

(四半期連結損益計算書関係)

第3四半期連結累計期間

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。 広告宣伝費 2,811百万円 給料・賞与等 3,467百万円 賞与引当金繰入額 362百万円 退職給付引当金繰入額 68百万円	※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。 広告宣伝費 4,031百万円 給料・賞与等 3,447百万円 賞与引当金繰入額 274百万円 退職給付引当金繰入額 65百万円

第3四半期連結会計期間

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。 広告宣伝費 586百万円 給料・賞与等 1,309百万円 賞与引当金繰入額 △50百万円 退職給付引当金繰入額 22百万円	※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。 広告宣伝費 1,030百万円 給料・賞与等 1,210百万円 賞与引当金繰入額 △18百万円 退職給付引当金繰入額 20百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
※ 現金及び現金同等物の当第3四半期連結累計期間末残高と当第3四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係(平成21年12月31日現在) 現金及び預金 31,328百万円 預入期間が3ヶ月超の定期預金 △49百万円 現金及び現金同等物 31,278百万円	※ 現金及び現金同等物の当第3四半期連結累計期間末残高と当第3四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係(平成22年12月31日現在) 現金及び預金 26,828百万円 現金及び現金同等物 26,828百万円

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成22年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末
普通株式(千株)	67,723

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末
普通株式(千株)	8,637

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年6月18日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	1,181	20	平成22年3月31日	平成22年6月21日
平成22年10月28日 取締役会	普通株式	利益剰余金	886	15	平成22年9月30日	平成22年11月19日

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

4 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	コンシューマ用ゲームソフト事業 (百万円)	アミューズメント施設運営事業 (百万円)	業務用機器販売事業 (百万円)	コンテンツエキスパンション事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 または 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高および営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	5,678	2,685	1,355	824	550	11,094	—	11,094
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	—	—	—	—	—	—	(—)	—
計	5,678	2,685	1,355	824	550	11,094	(—)	11,094
営業利益または営業損失(△)	△304	△32	270	103	228	265	(1,022)	△756

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品および事業内容

- (1) コンシューマ用ゲームソフト事業・・・家庭用ゲームソフトの開発・販売およびオンラインゲームの開発・運営事業
- (2) アミューズメント施設運営事業・・・アミューズメント施設の運営事業
- (3) 業務用機器販売事業・・・業務用ゲーム機器、I C基板等の開発・製造・販売事業
- (4) コンテンツエキスパンション事業・・・携帯電話向けコンテンツの開発・配信および遊技機等の開発・製造・販売事業
- (5) その他事業・・・ライセンス事業、その他

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	コンシューマ用ゲームソフト事業 (百万円)	アミューズメント施設運営事業 (百万円)	業務用機器販売事業 (百万円)	コンテンツエキスパンション事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 または 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高および営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	33,426	8,935	2,012	3,385	2,227	49,987	—	49,987
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	—	—	—	—	—	—	(—)	—
計	33,426	8,935	2,012	3,385	2,227	49,987	(—)	49,987
営業利益または営業損失(△)	6,994	448	△63	△299	897	7,977	(3,160)	4,817

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品および事業内容

- (1) コンシューマ用ゲームソフト事業・・・家庭用ゲームソフトの開発・販売およびオンラインゲームの開発・運営事業
- (2) アミューズメント施設運営事業・・・アミューズメント施設の運営事業
- (3) 業務用機器販売事業・・・業務用ゲーム機器、I C基板等の開発・製造・販売事業
- (4) コンテンツエキスパンション事業・・・携帯電話向けコンテンツの開発・配信および遊技機等の開発・製造・販売事業
- (5) その他事業・・・ライセンス事業、その他

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去 または全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高および営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	8,667	1,373	943	109	11,094	—	11,094
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	910	178	16	6	1,111	(1,111)	—
計	9,578	1,551	960	115	12,206	(1,111)	11,094
営業利益または 営業損失(△)	1,357	△736	△323	△5	291	(1,047)	△756

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) 北米・・・・・・・・アメリカ合衆国

(2) 欧州・・・・・・・・ヨーロッパ諸国

(3) その他の地域・・・アジア、その他

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去 または全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高および営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	36,574	7,472	5,315	625	49,987	—	49,987
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	4,183	832	70	36	5,122	(5,122)	—
計	40,758	8,304	5,386	661	55,110	(5,122)	49,987
営業利益または 営業損失(△)	9,095	△1,191	△67	112	7,949	(3,131)	4,817

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) 北米・・・・・・・・アメリカ合衆国

(2) 欧州・・・・・・・・ヨーロッパ諸国

(3) その他の地域・・・アジア、その他

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	1,240	877	220	2,338
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	11,094
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.2	7.9	2.0	21.1

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米・・・・・・・・アメリカ合衆国

(2) 欧州・・・・・・・・ヨーロッパ諸国

(3) その他の地域・・・アジア、その他

3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高の合計額（ただし、連結会社間の内部売上高を除く。）であります。

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	7,740	4,728	1,610	14,078
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	49,987
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	15.5	9.5	3.2	28.2

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米・・・・・・・・アメリカ合衆国

(2) 欧州・・・・・・・・ヨーロッパ諸国

(3) その他の地域・・・アジア、その他

3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高の合計額（ただし、連結会社間の内部売上高を除く。）であります。

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、取り扱う製品・サービスについての国内および海外の包括的な戦略を立案する複数の事業統括を設置し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業統括を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「コンシューマ・オンラインゲーム事業」、「モバイルコンテンツ事業」、「アミューズメント施設事業」および「アミューズメント機器事業」の4つを報告セグメントとしております。

「コンシューマ・オンラインゲーム事業」は、ユーザー向けのゲームの開発・販売をしております。「モバイルコンテンツ事業」は、モバイル向けコンテンツの開発・販売をしております。「アミューズメント施設事業」は、ゲーム機を設置した店舗の運営をしております。「アミューズメント機器事業」は、店舗運営業者等に販売するゲーム機や遊技機等を製造・販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	コンシューマ ・オンライン ゲーム	モバイル コンテンツ	アミューズ メント施設	アミューズ メント機器	計				
売上高									
外部顧客への売上高	54,057	2,383	8,727	2,849	68,016	2,756	70,773	—	70,773
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	54,057	2,383	8,727	2,849	68,016	2,756	70,773	—	70,773
セグメント損益	12,941	472	938	444	14,796	906	15,702	△2,933	12,769

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターコンテンツ事業等を含んでおります。

2 セグメント損益の調整額△2,933百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,933百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間(自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	コンシューマ ・オンライン ゲーム	モバイル コンテンツ	アミューズ メント施設	アミューズ メント機器	計				
売上高									
外部顧客への売上高	23,283	1,017	2,810	1,443	28,554	1,512	30,067	—	30,067
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	23,283	1,017	2,810	1,443	28,554	1,512	30,067	—	30,067
セグメント損益	8,410	172	205	424	9,213	678	9,891	△1,065	8,826

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターコンテンツ事業等を含んでおります。

2 セグメント損益の調整額△1,065百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,065百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

重要性が乏しいため、注記を省略しております。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)		前連結会計年度末 (平成22年3月31日)	
1株当たり純資産額	959.34円	1株当たり純資産額	913.18円

2 1株当たり四半期純利益金額等

第3四半期連結累計期間

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	28.32円	1株当たり四半期純利益金額	115.71円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	28.25円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—

- (注) 1 当第3四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
- 2 1株当たり四半期純利益金額および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(百万円)	1,731	6,836
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	1,731	6,836
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	61,152	59,086
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に用いられた四半期純利益調整額の主要な内訳(百万円) 社債管理手数料(税額相当額控除後)	0	—
四半期純利益調整額(百万円)	0	—
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に用いられた普通株式増加数(千株)	157	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式について前連結会計年度末から重要な変動がある場合の概要	—	—

第3四半期連結会計期間

前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)	
1株当たり四半期純損失金額(△)	△20.39円	1株当たり四半期純利益金額	85.51円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—

- (注) 1 当第3四半期連結会計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。
- 2 前第3四半期連結会計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額のため、記載していません。
- 3 1株当たり四半期純利益金額または四半期純損失金額(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益または四半期純損失金額(△)(百万円)	△1,235	5,052
普通株式に係る四半期純利益または四半期純損失(△)(百万円)	△1,235	5,052
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	60,588	59,086
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式について前連結会計年度末から重要な変動がある場合の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

(1) 中間配当

第32期(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)中間配当については、平成22年10月28日開催の取締役会において、平成22年9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主若しくは登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議し、配当を行いました。

- | | |
|----------------------|-------------|
| ① 配当金の総額 | 886百万円 |
| ② 1株当たりの金額 | 15円00銭 |
| ③ 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | 平成22年11月19日 |